

## サステナビリティレポート2023

# ハイライト

地球は多くの環境課題に直面しています。それらの課題は関連し合っているため、ソリューションも相互につながりを持たなければなりません。テトラパックは、食品・飲料業界の持続可能性への転換をリードするという目標の一環として、最も貢献できる、食品システム、循環型経済、気候、自然、社会的持続可能性の5つの分野で取り組みを進めています。

次に、テトラパックの目標と5つの分野での進捗をご紹介します。



# 食品システム

## 目標

手ごろな価格且つ安全で栄養価の高い食品の入手、バリューチェーン全体の食品ロスと食品廃棄物の削減を実現する、確実に回復力のある持続可能な食品システム<sup>1</sup>への貢献

## 進捗

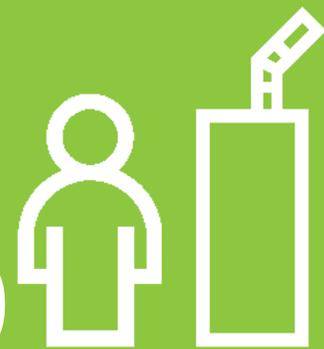
Fresh Start社との協力により、食品システムの課題に対する技術的ソリューションの検討

大豆飲料の新しい加工処理方法、および使用済み穀物から植物由来飲料への変換技術



43,939人の酪農家(96.2%は小規模自営農家)に対して、22のデイリーハブプロジェクトを通して牛乳を提供

6,600



万人の子どもたち

44か国へ学校給食プログラムを提供

<sup>1</sup> 持続可能な食品システム: 地球にマイナスな影響を与えない食料の栽培、生産、加工処理、流通、消費

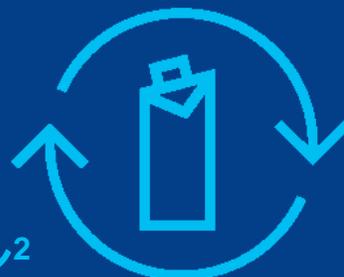
# 循環型経済

## 目標

循環型ソリューションの推進（食品・飲料の再生可能な紙容器の設計）、再生可能な資源またはリサイクル素材の使用、回収とリサイクルの拡大（無駄のない原材料の使用、ゴミの削減）

## 進捗

120万トン<sup>2</sup>



回収され、リサイクルされた紙容器

88億個の植物由来の紙容器<sup>3</sup>と

119億個の植物由来のキャップを販売

アセプティック紙容器のアルミ箔層に代わる繊維由来のバリアのテスト

紙容器の回収とリサイクルに最大3,000万ユーロ投資<sup>4</sup>



<sup>2</sup> リサイクルのために回収される紙容器の報告には、利用可能な場合、政府機関、登録された回収機関、全国的な企業団体、NGOなど、広く知られた情報源の公開された公式のデータを使用しました。これらのデータは一貫したアプローチで定期的に報告されています。

<sup>3</sup> ブラジルで販売されたBiB（ブレンドインBIO）は数量に含まれていません。BiBは、LDPE75%、植物由来LDPE25%の混合物です。  
<sup>4</sup> 事業経費および設備投資

# 気 候

## 目標

テトラパックの事業、製品  
およびバリューチェーンの  
脱炭素化<sup>5</sup>による気候変動  
緩和への対応

## 進捗

国際的な環境非営利団体CDPによる  
気候変動分野のAスコアを獲得

より多くの植物由来のプラスチックを購  
入することにより、131キロトンのCO<sub>2</sub>  
を削減<sup>6</sup>

 **84%**

テトラパックの事業における再生可能エ  
ネルギーの消費<sup>7</sup>



# 39%

テトラパックの事業における温室効果ガス排出量の削減  
(対2019年比)<sup>8</sup>

5 テトラパックの脱炭素化への取り組みは、製品や運用から排出される温室効果ガスの低減や撤廃を  
目指していますが、自然に配慮したソリューションや他のイニシアチブによる回収不能な残余排出量を  
相殺するカーボンオフセットも視野に入れています。

6 化石由来のプラスチックを使用した場合に排出されるCO<sub>2</sub>の量との比較。2022年に購入された72.7  
キロトンの植物由来プラスチックを考慮した、気候会計の内部演算(体積 × 排出係数)に基づく。除外  
された排出量の計算には、公表されているBraskem社によるLCA(ライフサイクルアセスメント)の植  
物由来のポリマーの第三者の排出係数を使用。

7 施設内の太陽光発電(PV)の容量を、2022年に前年の5.55MWから8.47MWに拡大した結果

8 スコープ1、2および出張

# 自然

## 目標

責任ある調達と戦略的なパートナーシップによる、生物多様性の保全・復元、気候変動の軽減と適応、世界的な水不足解消<sup>9</sup>への貢献

## 進捗



Araucaria Conservation Programmeによる87ヘクタール(サッカー競技場の136倍に相当)のブラジル大西洋岸森林の修復

CDPIによる森林のAスコアを獲得



テトラパックのウォーターフットプリントおよび水に関連するリスクに対する理解を深めるための、水のバリューチェーン分析を実施



再生可能なポリマーの責任ある調達の手順を初めて公表

<sup>9</sup> 企業は、サプライチェーン(サプライチェーンの回復力)を通して、事業を越えて(システムの回復力)、地域レベルで回復力(現地の回復力)を高めることができるため、民間部門は、システムの回復力強化において重要な役割を果たしています。

# 社会的 持続可能性

## 目標

事業全体およびバリューチェーン全体で人権を尊重することで社会へのプラスの影響を創出<sup>10</sup>

## 進捗

ブラジルとインドにおける、非公式な廃棄物収集業者を支援するプロジェクト



サプライチェーン全体における人権に対する重大リスクの特定

ビジネスと人権における原則の遵守



国連の指導  
原則

管理職の女性の割合が**22%に増加**<sup>11</sup>

<sup>10</sup> 社会へのプラスの影響とは、労働、差別、危険な労働条件、持続可能な収入などの分野で、テトラパックの従業員、サプライチェーンの作業者とコミュニティ、回収とリサイクルの作業員、バリューチェーンの人々にとってより良い結果をもたらすことを意味します。

<sup>11</sup> 2021年の18%との比較

続きを読む

<https://www.tetrapak.com/ja-jp/sustainability/measuring-and-reporting/sustainability-reports>

